

昭和二十七年十一月二十一日受領
答 弁 第 六 号

(質問の 六)

内閣衆質第六号

昭和二十七年十一月二十一日

内閣総理大臣 吉田 茂

衆議院議長 大野 伴 睦 殿

衆議院議員並木芳雄君提出国鉄南武線の本宿駅復活に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員並木芳雄君提出国鉄南武線の本宿駅復活に関する質問に対する答弁書

南武線分倍河原、谷保（二・八キロメートル）の両駅間には、南武鉄道株式会社当時「本宿」、「西府」の二駅があつたが、両駅とも駅員無配置駅で、取扱数量も比較的僅少であり、同線の国鉄買収の昭和十九年四月には、すでに運輸営業を休止していたので、国鉄は、買収と同時に両駅を廃止した。

本宿駅の復活については、現在の国鉄における新駅設置基準に照らし駅間距離が短く、又、国鉄の要員、予算等の現状から差し当り実施することは困難と思われる。しかしながら御趣旨の点については、今後地方事情等よく研究することとしたい。

右答弁する。